

情報公開文書（末梢血アフエレーシスの最適化）

1. 研究の名称：末梢血アフエレーシスの最適化
2. 本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、倉敷中央病院院長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名
代表研究機関：新井康之・京都大学医学部附属病院検査部・助教
4. 研究の目的・意義
本研究においては、過去の末梢血アフエレーシス（細胞採取）のデータを収集し解析することで、アフエレーシス効率および採取細胞数に寄与する因子を明らかにし、これらの因子を用いて、事前にアフエレーシス結果を予測するアルゴリズムを樹立します。これにより、より効率よくアフエレーシスを実施するための提言にもつながる可能性があります。
5. 研究実施期間：倫理審査承認日から3年間
6. 対象となる試料・情報の取得期間
2010年1月1日から2021年6月30日の間に、京都大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、倉敷中央病院で、末梢血アフエレーシスを受けた症例
7. 試料・情報の利用目的・利用方法
過去の診療録からデータを抽出し、本研究用のデータベースを作成し、解析する。
8. 利用または提供する試料・情報の項目
患者（あるいはドナー）年齢、性別、体表面積、アフエレーシス前の血球数・電解質値、アフエレーシス方法、アフエレーシス処理量、採取細胞数、アフエレーシス後の血球数・電解質値の項目を、各施設の研究代表者が診療録から抽出し、共通のデータベースに登録する。
9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
吉原哲・兵庫医科大学病院輸血部・細胞治療センター・講師
岡田和也・倉敷中央病院血液内科・医長
10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学医学部附属病院 新井康之（研究代表者）
11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止することができます。
12. 研究資金・利益相反
 - 1) 研究資金の種類および提供者：科研費（文部科学省）
 - 2) 提供者と研究者との関係：資金提供者の研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与はない
 - 3) 利益相反
利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査している。

13. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 代表機関の相談窓口

京都大学医学部附属病院検査部・新井康之・075-751-3630・ysykrai@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2) 各機関の相談窓口

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 血液内科 研究責任者 岡田和也

E-mail : kenkyu★ kchnet.or.jp (臨床研究センター) (★を@に変換して使用してください)